



竜西だより 2月号



令和4年2月1日
竜王町立竜王西小学校
校長 武久 雅則

学校教育目標 自ら学ぶ意欲と豊かな感性を持ち、共にやり抜く実践力のある子どもの育成
～学び きらきら 心 うきうき 行い どんどん～
スローガン みんなで生き生きがんばる竜西っ子～みんなが楽しい！竜王西小学校！～



コロナ禍の学校生活 ～1月の様子から～

一日の新規感染者数がすごい勢いで増加し続けている大変心配な状況ですが、感染予防対策を講じながら学校の教育活動を行なっています。保護者の皆様のご理解とご協力のおかげで、子どもたちが通常の学校生活を送れていることに心から感謝しております。コロナにも寒さにも負けず力いっぱい頑張っている子どもたちに元気をもらっている毎日です。

感染対策

デスクガードを活用して飛沫防止対策

しっかり手洗いすることが基本！



給食時は「デスクガード」(飛沫防止パーテーション)を使っています。これは、9月の緊急事態宣言下、町に買っていたいただいたものです。取付けや取外し、消毒の手間はありますが、「安心安全第一」です。班(グループ)でしっかり話し合うような場面でも活用していきます。



各学年、改めて「手洗い」について学び直しました。ブラックライトを使って、きちんと汚れが落ちているかチェックしながら、感染予防のための「正しい手洗い」が習慣化できるよう意識付けを行いました。

子どもたちは元気いっぱいです！



子どもたちは雪が大好き！



雪が積もった日の昼休み、子どもたちは運動場にまっしぐらです！たくさんの子どもたちが、雪合戦や雪だるまづくりに興じておりました。
自分たちの背丈ほどの大きな雪だるまを作って、「校長先生～！見てみて～！」大声で叫んでポーズをとる子どもたち…。全身で「楽しさ」を表現してくれます。
こんな子どもたちの姿には本当に癒されます。「仲間(友達)」と「空間(雪の積もった運動場)」と「時間(昼休み)」と「手間(雪だるまをつくること)」が揃うとき、子どもたちは本来の「笑顔」を見せてくれます。

なわとびを頑張っています！



昼休みはなわとびをする子どもたちがたくさんいます。学級ごとに用意された通称「ジャンピングボード」が人気で、高く跳ね上がる勢いを利用して、二重跳びやクロス(交差)系の技などの練習に意欲的に取り組んでいます。コロナ禍の遊びとしても、冬の体力づくりとしても、なわとびはとても有効でなので、得意な子も苦手な子も、自分の「目標」をもって、根気よく頑張してほしいと願っています。



県教委主催の「チャレンジランキング」というなわとびの記録会にもエントリーし、全校児童が挑戦しています。コロナ感染拡大が大変心配な状況ですが、写真のように十分な間隔をとり、感染対策を徹底して実施しています。子どもたちも今の状況を理解し、しっかりと約束やルールを守って取り組んでくれています。



早寝・早起き・朝ごはん+朝活！～子どもたちに健康的な生活習慣を～



竜王町では、学校教育と社会教育が連携しながら、町内2小学校1中学校が一丸となって「早寝・早起き・朝ごはん」推進校事業（国の委託事業）に取り組んでいます。「すべての基本は生活習慣！～子どもたちの未来を確かなものに～」をスローガンに、子どもたちの健康的な生活習慣を確立するために、「早寝・早起き・朝ごはん」の実践を強く呼びかけ、生活点検等の取組も進めています。

「早寝・早起き・朝ごはん」が整ってこそ、身体も心もリセットされ、一日を気持ちよくスタートできます。その状態で「朝活」＝脳トレに取り組むことで、より脳が活性化され、一日を意欲的に過ごすことができます。生活のリズムが「好循環」することで、子どもたちの喜びは大きく伸び、自分に自信（自尊感情）を持てるようになります。

「早寝・早起き・朝ごはん」推進校事業の一環として、竜王小と共同で企画作成した「早寝早起き朝ごはん」下敷きを先日全校児童に配布いたしました。お家の方でも一度じっくりとご覧ください。

2月行事予定

- 2日（水）たてわり遊び
- 7日（月）委員会活動
- 8日（火）入学説明会
- 9日（水）なかまタイム 全校一斉下校14:45
- 10日（木）ぼえむ(1,3,4年) チャレンジランキング(1,2年)
- 11日（金）建国記念の日
- 14日（月）きらうきどんの日（人権を確かめ合う日）
大縄大会（上学年）クラブ活動（最終）
※14日（月）～18日（金）校内版画展
- 16日（水）大縄大会（下学年） 学校運営協議会
- 17日（木）移動図書館
※17日（木）～23日（水）家庭学習がんばり週間
- 18日（金）ぼえむ(2,5,6年) 5,6年スマホの使い方教室
- 19日（土）～20日（日）ファミリー読書
- 23日（水）天皇誕生日
- 24日（木）ぼえむ(1,3,4年)
- 26日（金）ぼえむ(2,5,6年) 6年性教育（命の学習）
- 28日（月）卒業お祝い週間（～3/4）

新型コロナウイルス感染症拡大の状況に鑑み、中止または延期することになった2月の行事等

- 4日（金）3年七輪体験→3月に延期
- 8日（火）新入生体験入学→中止
- 18日（金）授業参観 PTA 教育講演会→中止

「節分」にまつわる話

「鬼を追い払い、福を内に入れる」という「節分」の行事。その歴史は古く、奈良時代には宮中で行われていたそうで、一般的な行事に広まったのは江戸時代だと言われています。現在は12月31日を大晦日、1月1日を正月（一年の始まり）としていますが、昔は冬から春になる立春を一年の始まりとしていて、立春の前日を節分と呼んでいた名残が、今の節分に繋がっています。節分は新年が始まる前に、厄を祓っておく意味で始まったというわけです。

「節分」と言えば、今は「豆まき」や「恵方巻」がすぐに思い浮かびますが、私の子どものころは「柊（ひいらぎ） 鬮（いわし）」といって、玄関に「焼いた鬮の頭を刺した柊の枝」を飾っていたのをよく覚えています。「鬮を焼いた臭いと煙で、鬼を寄せ付けないようにし、柊のトゲで鬼を退治する」といった意味の「魔除け（厄除け）」の飾りだったようです。

ちなみに、今は「赤鬼」「青鬼」など、「鬼」の具体的な姿・イメージが定着していますが、もともと「鬼」というのは、人間に不幸をもたらす「魔物」や「邪気」の総称のことで、それらが入ってくる北東の方角を「鬼門」と言いました。この北東の方角は「干支」というと、「丑」「寅」の方角であることから、「魔物」＝「鬼」には「丑（牛）」のように「角」があり、「寅（虎）」のような「縞模様」があるとされたという説があります。

竜王西小学校ホームページ

子どもたちの様子や学校の取組をブログで紹介しています。右のQRコードからご覧ください。

